

製品名: Bag3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86693**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:62 kDa; Observed MW:74-80 kDa

抗原情報

遺伝子名	Bag3
別名	BIS; MFM6; BAG-3; CAIR-1
遺伝子ID	9531
SwissProt ID	O95817
免疫原	ヒト Bag3 の合成ペプチド

背景

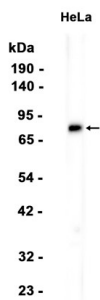
BAG タンパク質は Hip と Hsc70/Hsp70 ATPase ドメインへの結合を競合し、基質の遊離を促進する。全ての BAG タンパク質は C 末

端付近に約 45 アミノ酸からなる BAG ドメインを有するが、N 末端領域は大きく異なる。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、N 末端領域に WW ドメイン、C 末端領域に BAG ドメインを含む。BAG1、BAG2、および BAG3 の BAG ドメインは、in vitro および哺乳類細胞において Hsc70 ATPase ドメインと特異的に相互作用する。これら 3 つのタンパク質はすべて Hsc70 の ATPase ドメインに高い親和性で結合し、Hip による抑制下でシャペロン活性を阻害する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Bag3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。